



スマートフォンやタブレットはとっても便利で楽しい！でも使いすぎると体に不調が出てしまうことも…。そんな子どもたちのスマホ使いすぎに、家族と一緒に取り組むことができるような機能をご紹介しますと思います。

アプリ使用時間の制限機能

アプリごとに1日の使用制限時間を設定できる機能です。時間になったら通知が表示され、アプリのアイコンがグレーになります。アプリを起動しようとする、これ以上アプリを使用しないよう促しがあります。

➤ iOS (iPhone, iPad など) の場合



①設定画面から「スクリーンタイム」を選択。



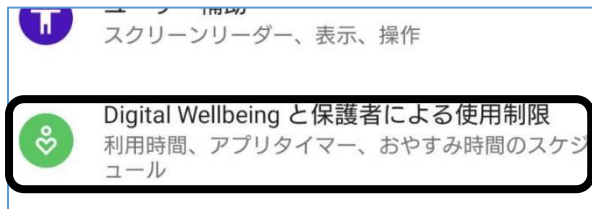
②「App 使用時間の制限」を選択。
「制限を追加」をタッチ。



③制限したいアプリと制限時間を設定。



➤ android の場合



①設定画面から「Digital Wellbeing と保護者による使用制限」を選択。



②「ダッシュボード」を選択。

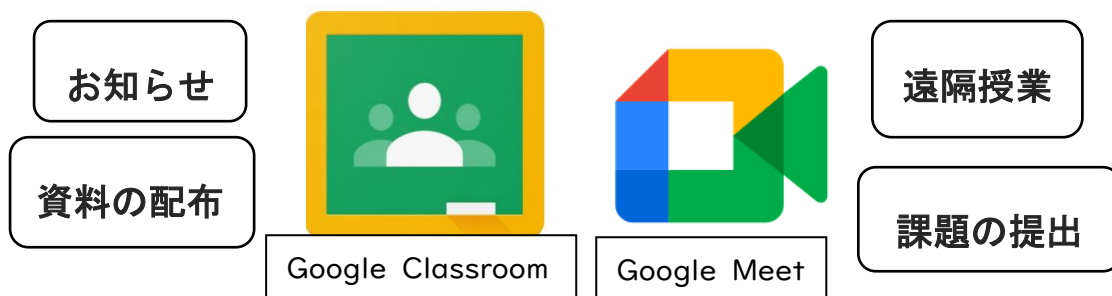


③制限したいアプリの横の砂時計から制限時間を設定。

今後、学校では「Google Classroom」や「Google Meet」といった Google アプリを iPad で活用していきます。どんなことができるようになるのか、どうやって使うのかをご紹介します。

Google アプリで何ができるの？

「Google Classroom」で、該当する「クラス」に入ると、そのクラスの担任からの連絡や資料の配布、課題やアンケートの提出などができ、「Google Meet」では遠隔での授業（ビデオ会議）が行えます。



Google Classroom の使い方

Google Classroom では、主に「ストリーム」と「授業」の2つの機能を使います。それぞれをタッチすることで確認できます。

ストリーム

- ・教師からのお知らせの確認
※児童生徒（ご家庭）からは連絡等をストリームに投稿することはできません。
- ・資料の受け取り

授業

- ・配布された課題やアンケートを提出

Google Meet の使い方

Google Meet は、Classroom から起動することができます。簡単に遠隔での授業（ビデオ会議）に参加することができます。※児童生徒だけでビデオ会議を開催、参加することはできません。

カメラアイコンをタップ

「参加」ボタンを選択。
ビデオ会議に参加できる。

ご家庭での学習でこれらのアプリを使用する際は、別途担任から連絡と説明をします。